

# 世界水会議報告

研究第三部 部長 大嶋 吉雄  
研究第二部 主任研究員 武藤 弘信  
研究第三部 主任研究員 牛田 久喜

## 1. はじめに

「世界水フォーラム」は、世界水会議(WWC:World Water Council)が主催し、3年に一度、3月22日の「世界水の日」を含む時期に1週間程度開催される。今年には日本において、京都、大阪、滋賀を会場として第3回世界水フォーラムが開催された。

WWCとは、1992年6月の地球サミット開催以降の“21世紀の持続的な開発には水資源管理が必要不可欠な重要な課題である”という国際的な社会認識の高まりの中で、1996年にこれらの地球規模での問題の解決策を追求するために設立された、世界的な水政策シンクタンクである。

今回は、WWC第3回総会(WWC 3 GA:World Water Council 3rd General Assembly)がフランスのマルセイユにおいて開催されることを受け、WWC会員の当センターの代表としてこの総会に出席してきたので、以下にその概要を報告する。



総会会場（ファロ宮）

会場内の様子

## 2. 主な議題

今回開催された総会では、主に以下の3つの争点について議論された。

- ①第4回世界水フォーラム開催地の決定及び発表
- ②WWC規約の改正
- ③新理事の選出

上記①の次回開催地については、本総会とは別に理事会の中で審議、投票が行われ、決められるものである。

また、②、③については、約40カ国、300人以上の会員による投票により決められるものである。

日本国内では現在66の会員が登録されており、そのうち今回の総会には28の会員が出席した。欠席した会員のうち、当センターは2会員の委任を受けて総会にのぞみ、計3票の権利を行使することとなった。

## 3. 審議及び投票の結果

### (1) 第4回世界水フォーラム開催地について

本件において、開催国としてエジプト、トルコ、

イタリア、メキシコの4カ国が立候補し、理事による投票が行われ、メキシコ12票、トルコ11票、エジプト6票で、次回開催国はメキシコと決定された。この結果については臨時総会において報告され、トルコより投票に対する異議が申し立てられたが、再度の理事会審議の結果、メキシコに確定することとなった。

### (2) WWC規約の改正

WWC規約については、組織改革、理事会改革、ビューローの構成など、8つの改正案が提示され、この全ての改正案について会員の承認が得られ可決された。



### (3) 新理事の選出

新理事の投票に先立ち、選挙方法について様々な意見や議論による紆余曲折もあった様であるが、最終的には前回の理事選挙の際の方法により行われることとなった。

すなわち合計38名の理事のうち、会員が選挙で選出できる21名の理事の名前を全て記入投票することとなる。また、残りの17名については選挙なしで選出されるものである。

この理事選挙に、日本からは5人の方々が立候補されており、下記に示す全ての方が当選するという素晴らしい結果となった。

石井弓夫・・・(株)建設技術研究所会長

竹内邦良・・・国際水文学会

虫明功臣・・・(財)水資源協会

尾田栄章・・・NPO法人第3回世界水フォーラム事務局

中村良太・・・(財)日本農業土木総合研究所

## 4. おわりに

フランス以外の先進国のメンバーが少ないためか、多数の投票権を持った日本の事務局の思惑にほぼ近い形で会議が進められた。

昨今のイラクの情勢のように、アメリカ主導でない場合、日本の意見もある程度採用されるという思いを強く抱いた会議であった。